



2007年11月21日

ロールス・ロイス製 Trent 900、初のVIP仕様A380型機に搭載決定

【英国 2007年11月12日】ロールス・ロイス社(以下「ロールス・ロイス」)は、初のVIP仕様エアバスA380型機向けエンジンに Trent 900 が選定されたことを発表しました。サウジアラビアのリヤドに本社を置くキングダム・ホールディング・カンパニーの会長、アルワリード・ビン・タラール・ビン・アブドルアジーズ・アルサ우드(Alwaleed Bin Talal Bin Abdulaziz al Saud)王子より発注されたVIP仕様のA380型機は、2010年に納入予定となっています。

今回の決定により、これまでA380搭載エンジンを選定している12運航会社中9社が、Trent 900を選択していることとなります。

Trent 900は、Trentシリーズ四番目となるエンジンです。これまでに製造した中で最大のエンジンであり、約10フィートのファンを使用しています。先月には、Trent 900を搭載したA380初号機が、シンガポール航空により商用運航を開始しました。

ロールス・ロイスの航空部門上級副社長であるミック・フォーリー(Mick Forey)は、次のように述べています。「Trent 900は、A380向けエンジンとして確固たる地位を築いていますが、今回の決定により、この地位はより磐石なものとなりました。初のVIP仕様A380向けエンジンとして選定されたことを大変誇りに思っており、また、今回の受注は、アルワリード王子およびキングダム・ホールディング・カンパニーとの長期にわたる素晴らしい関係の始まりを告げるものです。」

ロールス・ロイスは中東における存在感を高めており、民間航空、防衛航空、船舶、そしてエネルギーという自社の4つの部門を通じて、中東地域の発展に重要な役割を担っています。Trentエンジンシリーズは、カタール航空、エミレーツ航空、エティハド航空、アラフコ社およびガルフ・エアなどの中東地域の顧客より、B777、A330、A350XWB、A340およびそれらの全派生型機向けに受注を獲得しています。また、同地域では、IAE社(International Aero Engines)製のV2500エンジンも広く運航されています。

中東地域におけるロールス・ロイスの活動の詳細は、
www.rolls-royce.com/middle-east/default.htmにてご覧いただけます。